



不二サッシ

窓から夢をひろげていきます

不二サッシグループ
CSR報告書

2017



会社概要

商号 不二サッシ株式会社 (FUJI SASH CO.,LTD.)
 本社所在地 神奈川県川崎市幸区鹿島田1丁目1番2号 新川崎三井ビルディング
 創業 1930(昭和5)年7月7日
 設立 1969(昭和44)年5月1日
 資本金 1,709,609,300円
 従業員数 844名(連結2,946名、2017年3月31日現在)

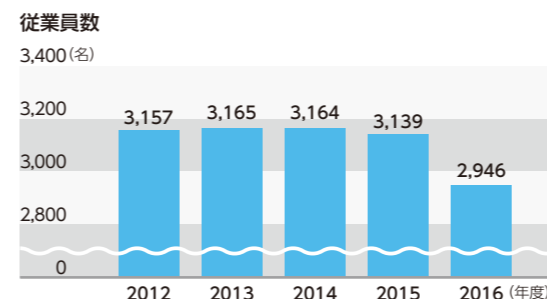
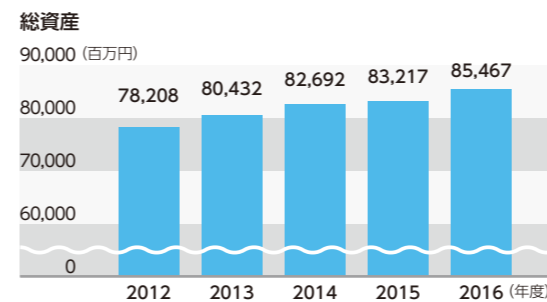
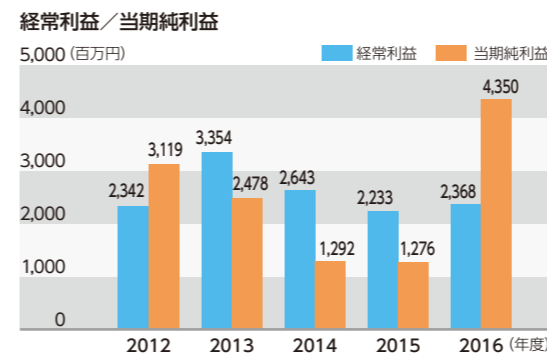
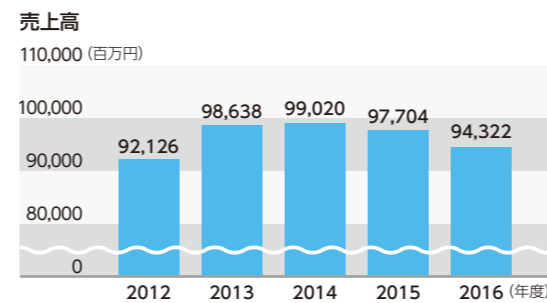
事業内容

 ビル建材事業 専門メーカーとして長年培った高度なテクノロジーとノウハウを駆使し、高い性能や品質と多様なデザインの要求に応えるビル用サッシ・カーテンウォールをご提案します。	 フロントサッシ事業 オフィス、マンションのエントランスから店舗、ショールームなどの大開口部のファサードまでお客様のニーズに最大限にお応えする豊富なフロント商品を取り揃えています。	 住宅建材事業 リフォーム市場も視野に入れたエコアドやエコ面格子といったエコシリーズ商品の充実を図り、お客様のニーズに応えています。	 リニューアル事業 スtock化が進むマンションやオフィスビルを中心とした様々な建築物にリノベーション工事を施すことにより、快適な居住空間の提供や資産価値の向上をお手伝いします。	 ユニットハウス・防災関連事業 多目的な展開が図れるユニットハウスや防災備蓄倉庫、高性能機器収納箱(シェルター)まで、多様な用途にお応えするパッケージ商品を多彩なラインナップで揃えています。
 LED事業 独自設計のLEDモジュールを使った商品の開発を進めています。アルミ素材とLEDの融合により様々な商品の可能性を広げていきます。	 環境エンジニアリング事業 都市ゴミ焼却施設の飛灰処理設備、リサイクル・粗大ゴミ処理施設のプラントエンジニアリングから薬剤の製造・販売まで都市ゴミのトータル処理システムを提供しています。	 海外事業 フィリピン、ベトナム、台湾など東南アジアを中心に不二サッシブランド商品の展開や現地企業とのアライアンスを積極的に推進しています。	 アルミ型材・アルミ加工品事業 一貫生産システムで、建材から半導体製造装置、自動車関連、家電製品、事務機、日用品の部品まで軽金属のサプライヤーとして多様な商品を提供しています。	 マグネシウム合金事業 実用金属中最も軽量のマグネシウム合金の押出加工技術の研究・開発に取り組んでいます。高強度・高耐熱マグネシウム合金はあらゆる分野での事業展開が期待されています。

不二サッシグループ生産拠点



データ



目次

会社概要	2
目次/編集方針	3
トップメッセージ	4
不二サッシグループの歩み	6
不二サッシグループの製品・サービス	8
特集：社会に新たな価値を創出する不二サッシグループ	10
画期的な製品づくりで新たな価値を創出し、より豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。	
地球環境のために	
環境マネジメント	14
地球温暖化防止	15
環境負荷の低減	16
環境会計・マテリアルフロー	17
お客様サポート	
製品品質・安全への取り組み	18
顧客満足の向上	19
社会とともに	
不二サッシの活動	20
グループ会社の活動	21
従業員とともに	
人権の尊重	22
人材の育成	23
ワークライフバランス	24
労働安全衛生	24
コミュニケーション	
ステークホルダーとのコミュニケーション	25
マネジメント	
コーポレート・ガバナンス	26

編集方針

本報告書は、「環境省ガイドライン」を参考に、当社のCSRに関する活動および成果についてまとめ、前回同様「ホームページ」での公開としています。みなさまの意見・要望を取り入れて今後の施策に活かしていきます。今後もCSR報告書としてまとめ、毎年公開をしていきます。

● 対象範囲

不二サッシ(株) 本社地区/東京地区/千葉地区
 不二ライトメタル(株) 東日本事業部
 関西不二サッシ(株)
 ※一部対象範囲以外の活動も含まれます。

● 対象期間

2016年4月1日～2017年3月31日
 ※一部対象期間以外の情報も含まれます。

創業90周年へ向けて その先の100年企業を見据え、 企業価値と存在感のある 選ばれる企業を目指します。



代表取締役社長 吉田 勉

100年企業を見据えて

不二サッシは1930年に設立し、1958年に国内で初めてビル用アルミサッシの製造販売を開始して以来、今日に至るまでアルミ建材を中心に様々な事業を展開してまいりました。

その間、経営的に厳しい時期を経験し、記憶に新しいところでは、バブル崩壊後の長期にわたる経済停滞、リーマンショックによる世界規模の景気後退など、様々な環境変化に対し、大規模なリストラなど痛みを伴う苦渋の決断を経て、当社グループは一丸となって乗り越えてきました。

その結果、2016年まで7期連続の黒字を達成し、その間、優先株の処理を完遂させ、18期ぶりの復配を実現するに至りました。

不二サッシグループは2020年に創立90周年を迎えます。2017年度から2020年度までの中期経営計画「創造」の基本方針は、創業90周年へ向けてその先の100年企業を見据え、企業価値を高め、存在感を発揮し、選ばれる企業を目指すための礎を築くことです。骨子としては、グループのコア事業である建材事業、形材外販事業を一層強化し、注力事業と位置づけたリニューアル事業、環境事業を販売拡大させ、成長事業であるLED事業、ユニットハウス事業、海外事業、さらには新素材開発（マグネシウム合金）を将来の柱とするべく邁進していきます。

新中期経営計画「創造」

「変革への挑戦、選ばれる企業へ」のスローガンのもとに、事業ポートフォリオ戦略を推進し、2020年とその先の10年を見据えた成長シナリオを描いています。



経営理念を原動力に

「不二サッシは窓から夢をひろげていきます」

当社グループの基本姿勢を示すこの経営理念は1990年に制定しました。

そして三つの社員の行動規範を内外に約束しています。

「私たちはお客様との絆を大切にします」

「私たちは心を込めた商品を世に出します」

「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」

ごく当たり前のことですが、当たり前のことを当たり前徹底してやりきることは、実は容易ではありません。社員一人ひとりが常に意識し、実践を重ね、徹底して継続することで初めて自然に滲み出るようになり、不二サッシグループのDNAとして誇れるレベルになると思っています。そしてそこから生まれる活力はグループの原動力となっていきます。

当社の主力事業は受注製造業であり、既製品の店頭販売ではなく、注文ごとにお客様の要望を設計して製品を製造し、納めていく過程も重要となるエンジニアリング事業です。製品そのものと同じく、その対応力も含めて商品であり、「ものづくり」と「エンジニアリングサービス」のブラッシュアップが欠かせません。

顧客目線の商品開発が重要な鍵であり、当社グループの社員一人ひとりの対応力、組織としての対応力も重要な鍵です。その全てが商品であることを自覚し、不二サッシグループとして誇れる商品を世の中に提供し続けます。

社会環境報告書からCSR報告書へ

不二サッシグループは、これまで「社会環境報告書」を発行してまいりましたが、環境保全に対する責任はもちろんのこと、社会的な要請に応え、持続可能な社会に貢献する責任があるため、今年度より「CSR報告書」を発行することといたしました。

企業発展の原動力は社員であり、その「人間力」が不二サッシグループを支えています。したがって、社員が持てる能力を最大限に発揮できる環境を作り上げることが、会社の重要テーマであり、ワークライフバランスの実現、人材育成、女性活躍の推進など、全社レベルで積極的に取り組んでいきたいと考えています。

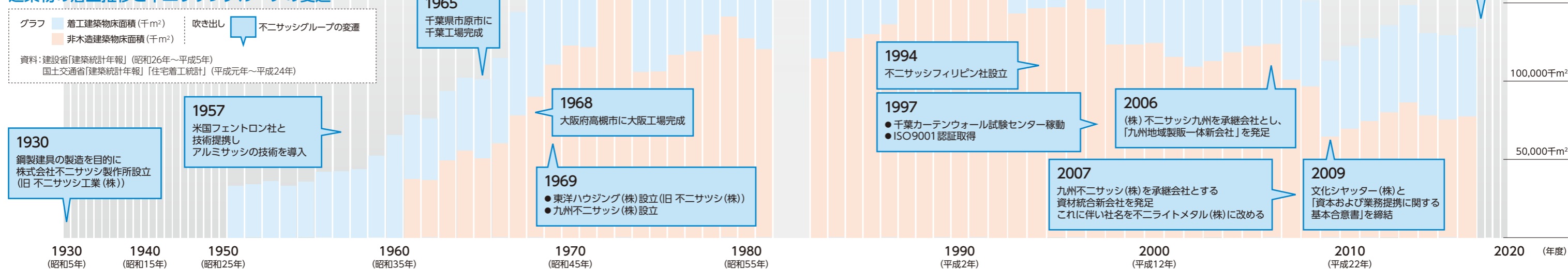
不二サッシグループは、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、ガバナンスの強化に努め、コンプライアンスは法令遵守のみならず、広く社会的な要請と捉え、これにしっかりと応えてまいります。

不二サッシグループの歩み

激動する市場環境変化の中で、不二サッシグループは創業以来育んできたアルミサッシの技術を基に、未来に向けてしっかりと歩みを進めています。

私たちは1930年の創業以来、サッシの製造事業を通じてビルや住宅における快適な居住環境を追求してきました。特に1958年に国内で初めて製造販売を開始したアルミサッシ分野では、一貫生産のアルミサッシ・カーテンウォールのパイオニアとして国内外のビッグプロジェクトに参加し、都市景観の創造に寄与してきました。そして今、80年以上の歴史の中で培った技術力と提案力を軸とした最先端の研究開発力、安定した生産・供給力を基盤に、アルミサッシ・カーテンウォールの基幹事業をはじめ、リニューアブル事業からアルミ型材・加工品事業、環境エンジニアリング事業、海外事業、さらには新素材開発まで、未来を見据えて新たな事業を積極的に展開し、グローバルエンジニアリング企業を目指しています。

建築物の着工推移と不二サッシグループの変遷



新たな挑戦

1958 日本で初めてビル用アルミサッシの製造・販売を開始

1961 日本で初めて住宅用アルミサッシ「片引きFK」発売

1964 日本初の超高層建築「ホテルニューオータニ」竣工。当社のカーテンウォール工法が採用される

1975 廃棄物の固化処理技術「アルセット工法」開発

1999 (株) 在原製作所と提携し、ダイオキシン類低温加熱分解装置の製造・販売開始

2002 「エコアマド」発売
2002年度グッドデザイン賞受賞

2004 ●次世代型バリアフリーサッシ「フラットステージ」
●アルミ木材複合カーテンウォール「ジェイナス」
●横引きアルミシャッター「シエスタV」
2004年度グッドデザイン賞受賞

2009 ●「テラコッタ調アルミニウム表面処理建材」
●自然風力換気窓「ウインプレス」
2009年度グッドデザイン賞受賞

2013 LED 商品アルエアシリーズ「タイプII コンポジットモデル」
2013年度グッドデザイン賞受賞

2014 LED 商品アルエアシリーズ「タイプIII アルエア-グラン」
2014年度グッドデザイン賞受賞

2015 ●LED 搭載型カーテンウォール「アルビームシステム」
●アルミペンダントライト「i-v (アイ・ヴィ)」
●「エコ引違い雨戸スピーディ」
2015年度グッドデザイン賞受賞

2016 次世代ハイグレードサッシ「FNS-II 70」新発売

●「アルビーム・エルドロウ」
●「アルビーム・自動ドア」
●「ブラケットライト」
2016年度グッドデザイン賞受賞

2017 フィグラ (株)、(株) 遠藤照明との異業種コラボレーションによるこれまでにない建築ファサードの提案

施工実績

- 1932 服部時計店
- 1934 明治生命本館
- 1954 渋谷東急デパート
- 1964 ホテルニューオータニ
- 1972 NHK放送センター
- 1978 サンシャイン 60
- 1986 ヤマトインターナショナル
- 1991 東京都第一本庁舎
- 1997 クイーンズスクエア横浜
- 2002 丸の内ビルディング
- 2004 浜松町スクエア
- 2012 渋谷ヒカリエ
- 2013 グランドフロント大阪
- 2014 ザ・パークハウス 晴海タワース クロノレジデンス
- 2017 秋田市新庁舎



建材事業を核に社会の隅々で活躍する

不二サッシグループの製品・サービス



グループのコア事業

ビル建材事業



フロントサッシ事業



アルビームフロント (LED組み込み商品) など

防災・災害対策

フロントサッシ事業



Fフロント 水防タイプ

ビル建材事業

4 免震式サッシ枠



ユニットハウス・防災関連事業

5 ユニットハウス



不二サッシリニューアル(株)

6 耐震補強枠



アルミニウム合金耐震補強枠

地域貢献

不二サッシリニューアル(株)

7 リノベーション工事



スチールサッシ、アルミサッシ、カーテンウォール、外壁アルミパネル、手摺などの取替

日海不二サッシ(株)

8 ゴミ集積ボックス



環境エンジニアリング事業

9 粉塵防止剤



アルミ材・アルミ加工品事業

10 オールアルミ製神輿



省エネ貢献

ビル建材事業



FNS-II 70

住宅建材事業

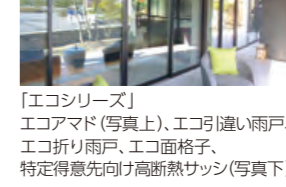
12 住宅サッシ



「エコシリーズ」エコアマド(写真上)、エコ引違い雨戸、エコ折り雨戸、エコ面格子、特定得意先向け高断熱サッシ(写真下)

LED事業

13 水銀灯型LEDランプ



アルミ材・アルミ加工品事業

14 ソーラー架台



環境貢献

環境エンジニアリング事業



環境エンジニアリング事業

16 飛灰処理施設



環境エンジニアリング事業

17 リサイクル処理設備

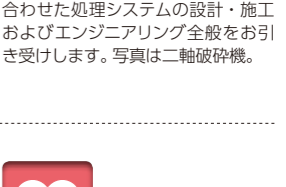


粗大ごみや不燃ごみ、ペットボトル、廃プラスチック等それぞれのごみに合わせた処理システムの設計・施工およびエンジニアリング全般をお引き受けします。写真は二軸破砕機。

障がい者支援

マグネシウム合金事業

18 競技用車いす



画期的な製品づくりで新たな価値を創出し、より豊かで持続可能な社会の実現に貢献します。

不二サッシグループは創業以来「ものづくり」という原点を大切にしながら、80年以上におよぶ歴史の中で培った技術を基盤に、革新的なチャレンジに取り組み、環境をはじめとする様々な社会課題の解決に努めてきました。そしていま、2020年の創業90周年、さらには100周年を迎えるにあたり、画期的な製品づくりを通して新たな価値を創出し、より豊かで持続可能な社会の実現を目指しています。

省エネ貢献



逆流防止機能と排煙窓機能を両立した自然風力換気窓

自然風力換気窓 ウインブレス-EX



連窓外観

自然風力を利用することで、CO₂排出量の削減に貢献する排気タイプの換気窓です。給気口と排気口の風圧力差による風力換気と、無風状態から微風状態における、空気温度差を利用した重力換気（空気は温度が上昇するにつれて密度が低下し上層に移動）を行うとともに、逆流防止機能も搭載していることから、より計画的に建物内の換気経路を構築することが可能です。計画的な自然換気によって空調機器のランニングコストを削減し、建物の省エネルギー化に貢献します。さらに、排煙窓機能も搭載しており、自然排煙口の開口面積として有効活用できます。

簡単操作性

電動オペレーターを採用しているため、簡単なボタン操作で開放・閉鎖・排煙（強制的に障子を固定）ができます。停電での電源喪失時には、電動駆動装置（モーター部）を手動でハンドル操作することで開閉も可能*です。



* 電動駆動装置の設置位置によっては、手動でハンドル操作ができない場合があります。

各種センサーによる自動制御

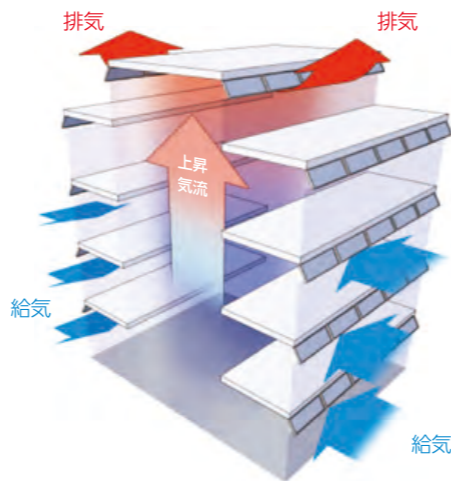
開放時に天候が急変しても、風・雨・温度センサー*による自動制御で窓を閉鎖することが可能です。さらに、タイムスケジュールに沿った運転（朝に開放、夕方に閉鎖等）も可能です。



風センサー 雨センサー 外部温度センサー

* 雨・温度センサーはオプション設定です。屋外に設置するセンサーは、定期的にメンテナンス（清掃や部品交換）が必要です。

建物内の換気経路イメージ



逆流防止機能

風がある時は風上側の居室から、新鮮な外気を一方向の流れで給気することが可能です。塔屋や上階の風上側の排気口を閉鎖することで、給気口から吹き抜けを上昇した空気は停滞・逆流することなく排気されます。

グループのコア事業



多様なカスタマイズが可能な自ら発光するアルミ建材



アルビーム・エルドロウ

サッシの室内側フレームに、4種類の照明ユニットと3種類のリフレクターを選び自由に組み合わせることで、建物のエントランス、商業施設のショーウィンドー、ホテル、マンションロビーなどの空間設計、演出照明に新しい考え方を提案する商品です。

「アルビーム・エルドロウ」は、組み合わせ自由度の高さが特長です。上下に光を発する「ブラケットライトDouble」「ブラケットライトSingle」を開口部の高さ違いで組み合わせたり、スポットライトを加えたり、サッシ自体が照明ユニットになることで、配線や取り付け位置などの制限がなくなります。サッシという建材に「光」という新しい要素を加え、これからの建築を変えていきます。

開発者の声

この商品の企画・開発の意義は、サッシにLEDを内蔵することによる「演出性」に加え、「機能性」「システム化」「カスタムできる」要素を加えたことにより、建築家やインテリアデザイナーの意図する自由な空間演出に貢献できる建材であること。また、納品時に限らず、後からでも機能の追加・変更ができ、サッシそのものの使い方や表情を変えることができる、といった新しい価値を創造する商品であることです。

室内側サッシフレーム



リフレクター



照明ユニット



ブラケットライト Single ブラケットライト Double スポットライト ラインライト

防災・災害対策



ユニットハウスのメリットを生かした 新たな建築システム商品

ベターリビング認証 ユニットハウス

折り畳み方式のユニットハウスとしては、業界で初めて、建築物の設計、施工などを評価する第三者機関の一般財団法人ベターリビングによって、建築構造として認証された商品です。従来のユニットハウスは仮設建築が主用途でしたが、認証ユニットハウスは建築基準法に基づいた構造計算が可能であり、一般建築として確認申請に対応できる商品です。



一般建築物としての商品展開例

技術評定の概要

接合部は構造解析を重ね、柱と梁・柱と土台の接合部実験で確認を行い、一般財団法人ベターリビング鋼構造評定委員会の審査を経て「回転剛性並びに長期および短期許容耐力が妥当である」との技術評定を受けました。



平屋建て/2連棟
郊外型店舗デザイン



2階建て/10連棟
軽食・展示ショップデザイン

環境貢献



世界規模の豊富な実績を持つ 破碎機メーカーと共同開発契約

二軸破碎機

不二サッシは1993年から、リサイクル、粗大ごみ処理設備の受注を開始し、プラント設計および施工、システムエンジニアリングを主体に実績を重ねてきました。2015年には、米国SSI社と粗大ごみ処理設備等で使用する二軸破碎機の共同開発契約を結び、2016年より本格的に販売を開始しました。本破碎機はこれまで破碎が難しかった畳（1枚）やスプリング入りマットレスの破碎も確実に処理することが可能で、お客様から高い評価を得ています。



障がい者支援



マグネシウム合金の特性を生かし 障がい者スポーツの普及・強化に貢献

マグネシウム製競技用車いす Mg-Air

障がい者スポーツは健康維持のために行う方がいる一方で、競技として行い、大会で好成績を残すことを生活の目標や生きがいに行っている方も少なくありません。そのため陸上競技の長距離用車いすには、軽量性はもとより、耐久性や安全性も求められます。現在、軽量化ではアルミ製が主流で、より軽いカーボン製車体も製品化されている中、不二ライトメタルは「平成26年度次世代マグネシウム合金地域連携型実証事業費補助金」を活用し、最も軽量で、路面凹凸を緩和する振動吸収性に優れたマグネシウム合金製の車いすを開発しました。アルミ製より軽量で、カーボン製より低価格の陸上長距離競技用車いすです。一般仕様（汎用マグネシウム合金製）と高強度仕様（フロントフォーク部にKUMADAI耐熱マグネシウム合金を使用）の2タイプを設定しています。



第35回大分国際車いすマラソン大会でのMg-Air出走風景

地域貢献



軽く、強く、錆びにくいアルミ素材で 景観とも美しく調和

自社開発クリーンボックス

日海不二サッシ（株）は、ごみの散乱を防ぎ、収集所を清潔に保つ「クリーンボックス」を自社開発し、発売以来、石川県内の市町村やマンション等多方面にわたり活用されています。本製品は「軽い」「強い」「錆びにくい」をコンセプトに、アルミ素材で作られており、都市景観に美しく調和しながら衛生的な環境づくりに貢献しています。「クリーンボックス」を設置したお客様からは、カラスや猫などのごみあさりや強風によるごみの散乱がなくなり、収集所が常に清潔に保たれると評判です。



設置例



環境マネジメント

不二サッシグループの環境方針

環境基本方針・行動指針に基づき環境マネジメントシステム(EMS)を導入し、環境保全活動を進めています。環境リスクを従来の製造・加工の段階で対策するだけでなく、設計部門での環境配慮設計や施工部門での環境配慮、情報各部門での文書のペーパーレス化を推進し、継続的な改善で経営効果に結び付けていきます。

基本方針

不二サッシグループは、環境との調和を“経営理念”実現の課題の一つとして、すべての事業活動において、一人ひとりが環境への優しさを創造して行動し、継続かつ積極的に改善を努め、「環境配慮型企業」をさらに進化させて「循環型企業」を目指しています。

行動指針

不二サッシグループは、事業活動、製品及びサービスにおける全事業領域の環境保全活動として、以下の行動に取り組んでいます。

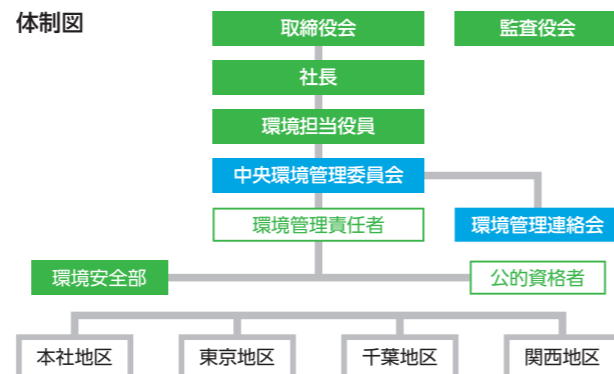
1. 環境保全活動による継続的改善と汚染の予防を図る
2. 法規制及び同意したその他の要求事項を順守する
3. 省エネルギー・省資源及び新エネルギー商品を開発する
4. 購入、製造、物流等の事業活動に伴う各段階で、省エネルギー・省資源及び3R(リデュース・リユース・リサイクル)を推進する
5. 化学物質による環境汚染を防止する
6. 環境教育と啓蒙活動を実施する

推進体制

「中央環境管理委員会」の下で、各地区ごとに環境管理委員会を設置し、地区の公害防止と環境保全に関する問題を円滑に処理し、省エネルギー推進とシステムを構築するために委員会を開催し、環境施策の検討や情報交換、活動の水平展開を行って活動のレベルアップとスピードアップを図り、環境に対する取り組みを推進しています。

また、「環境安全部」を中心に、環境管理委員会にて環境に関する改善策の実施状況の推進および指導をしています。さらに、関係会社を含めた環境管理連絡会を開催し、全社の環境保全に関する情報集約と公害の発生防止に努めています。

体制図



環境行動目標と2016年度実績

行動指針	環境行動目標	2016年度実績
省エネルギー活動	生産量(押出+電解)当たりの電力消費原単位を2008年度比5.0%改善する	2.1%削減(2008年度比) ※ 生産工程のスリム化により、原単位を改善 ※ 電力使用量は27.4%削減(2008年度比)
	省エネルギー製品の開発(断熱・省エネ関連商品開発)	●ウインプレス-EX
	メガソーラーシステムの運用	3基のメガソーラーシステムを運用 千葉事業所第1発電所に加え、第2発電所および関西不二サッシに発電所を設置し運用開始
省資源活動	事務棟での節電の励行	●クールビズ、ウォームビズの実施 エアコン設定温度(夏季28℃、冬季20℃) ●照明の間引き実施
	●新設備・技術導入による省資源活動 ●地下水検漏過システムの導入による 上水使用量の低減および地域貢献活動	●新ホモジナイズ炉導入による燃料削減 ●事業継続計画(BCP)の一環として地下水検漏過システムを運用
リサイクル(ゼロエミッション)	ゼロエミッションの継続、推進 廃棄物のリサイクル率97.0%以上	●リサイクル率96.2% ●廃棄物排出量15.4%削減(2008年度比)
化学物質の管理	●PRTR法等に対応するSDSを確保 ●化学物質の使用量削減 ●硫酸ニッケル回収装置の維持管理により 使用量を1999年度比80%以上削減 ●部品、部材の安全性の確認	化学物質使用量84.1%削減(1999年度比) ※ 開発商品に使用する材質のSDSを確認し、指定化学物質の使用を回避
グリーン調達	グリーン調達に向けた 部品・材質への切替え	●樹脂部品の材質刻印の推進 ●各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進
法規制遵守	大気、水質、騒音、有害物質等の 法規制・条例、その他規制の遵守	●環境教育を含めた、法遵守のためのコンプライアンス教育の実施 ●関係会社への法遵守環境監査実施 ●コンプライアンスの小窓発行

ISO14001認証取得

当社は既に千葉地区・本社地区・東京地区・関西地区(関西不二サッシ)において、認証取得済みです。また、関連会社では不二ライトメタル(株)、日海不二サッシ(株)、協同建工(株)が認証取得しています。今後は関係会社も含め拡大認証取得に向け推進していきます。

環境教育

環境マネジメントシステムの理解と、環境意識の向上を図るため ①全従業員を対象とした一般環境教育 ②専門知識を必要とする従業員に対する専門環境教育を実施しています。また、優遇制度を設け、環境関係の公的資格取得を推進しています。

グリーン調達

樹脂部品の材質刻印の推進

サッシに使用されている樹脂部品に、廃棄時の分別の目安としてそれらに用いられている材質の刻印を施すことを推進しています。

各生産拠点個別購買から集中購買比率向上の推進

各生産拠点が各々必要数量だけ購入する形態から、統合金具倉庫にてロットをまとめ、集中購買することにより納品回数を減らし、環境負荷の低減に寄与しています。

法規制遵守

環境に関する法規制を遵守するため、環境法規要求事項一覧表に基づき点検・管理を行っています。特に監視ポイント毎の現場点検、公害防止管理者の職務改善、環境教育およびコンプライアンス教育に重点を置いた改善活動を行っています。

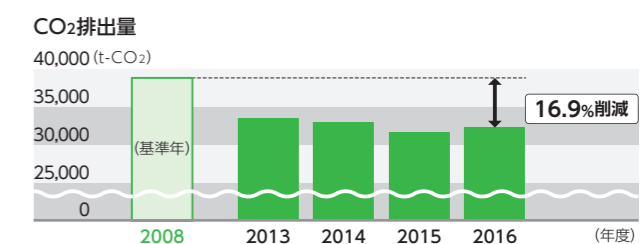
緊急事態への対応

化学薬品や燃料の流出など、工場外への重大な環境汚染を未然に防ぐため、緊急事態対応マニュアル・手順書を作成し、手順書に基づく訓練を行っています。

地球温暖化防止

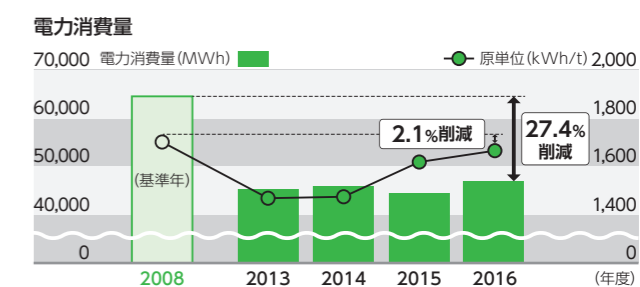
CO₂排出量の削減

CO₂排出量削減のため、押出機および表面処理工程のライン稼働やコンプレッサーの運転を重負荷時の昼間から軽負荷時の夜間へシフトさせ、空調機の設定温度(夏28℃、冬20℃)の徹底、照明設備の間引き等、省エネルギー活動の推進に努めています。2016年度のCO₂排出量は32,311t-CO₂/年と、2008年度比で16.9%の削減となりました。



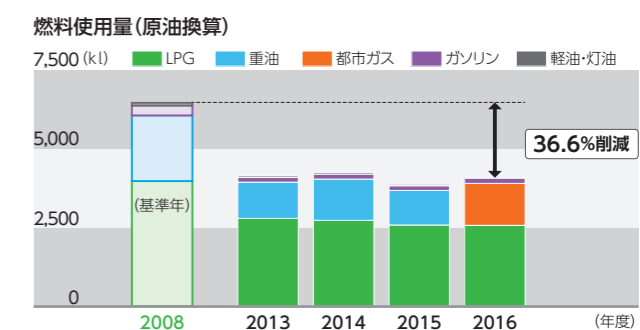
消費電力の削減

原単位=生産量(押出+電解)当たりの電力消費量(kWh/t)を、2008年度を基準として5.0%改善することを目標とし、生産工程のスリム化を進め2016年度の実績は、2008年度比で2.1%改善しました。また、電力消費量も、46,816MWhと、2008年度比で27.4%削減となりました。



燃料使用量の削減

生産段階で用いられるLPG、都市ガス、ガソリンを代表とする燃料の2016年度使用量は、原油換算値で4,093klとなり、2008年度比で36.6%削減しました。

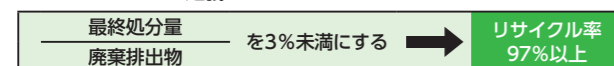


環境負荷の低減

リサイクル(ゼロ・エミッション)

ごみ置場を区分し分別を徹底することにより、リサイクル率を向上させています。また、産業廃棄物総排出量の最終処分場への持ち込みゼロとする「ゼロ・エミッション」を推進しています。

ゼロエミッションの定義

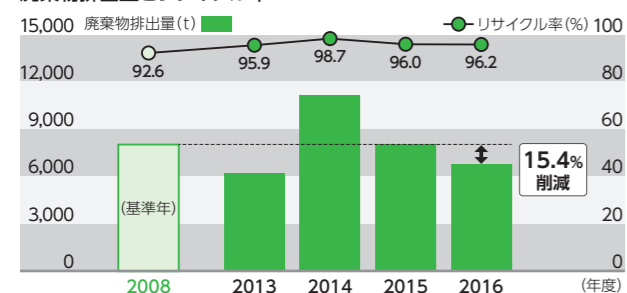


廃棄物排出量の削減と3Rの推進

産業廃棄物排出量は、6,779tと前年比-16.0%と大幅に削減し、2008年度比でも15.4%の削減となりました。また、再利用・再資源化分が6,518t、リサイクル率は96.2%となりました。

今後は、廃棄物排出量を削減した中で、ゼロエミッションを達成できるように3R運動に取り組んでいきます。

廃棄物排出量とリサイクル率



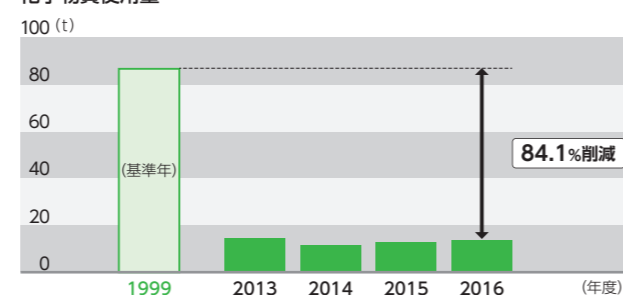
化学物質の管理

生産段階で使用される化学物質の危険有害性や取り扱い・保管上の注意および緊急時の応急措置等をSDSで把握し、保管・管理を徹底しています。

化学物質使用量の削減

硫酸ニッケル回収装置の維持管理を徹底し、使用量を1999年度比で80%以上削減することを目標としています。2016年度実績は、13.8tと1999年度比で84.1%の削減となり、目標を達成しました。

化学物質使用量



PRTR法への対応

取り扱う化学物質のうち、PRTR法(有害物質排出移動登録)に基づき届出を行っているものの排出量、移動量は次の通りです。

PRTR対象物質(2016年度)

番号	化学物質名	取扱量	排出量				使用量	
			大気	水域	土壌	上下水/左記以外		
309	ニッケル化合物	4.82	0.00	0.68	0.00	0.00	0.00	4.82
374	ふっ化水素およびその水溶性塩	3.50	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	3.50
405	ほう素化合物	2.93	0.00	2.10	0.00	0.00	0.00	2.93

※ ダイオキシン類については、特定施設であった廃ガス洗浄施設を廃止したことにより、2015年12月末でダイオキシン特措法の適用が除外となったため、2016年以降は対象物質表より除外しています。今後とも適正管理するとともに、対象物質の削減にも力を入れていきます。

PCBの管理

PCBを含むコンデンサ、変圧器、安定器について廃棄物の処理および清掃に関する法律の基準に沿って適正に保管・管理をしています。また、「ポリ塩化ビフェニル廃棄物等の保管及び処分状況等届出書」により報告をしています。

環境会計・マテリアルフロー

2016年度の環境会計

分類	主な取り組み内容	投資額		費用額	
		2015年度	2016年度	2015年度	2016年度
公害防止コスト	燃焼ガス処理施設、排水処理施設、監視施設	1,169,534	6,643	42,108	83,105
地球環境保全コスト	照明のLED化、省エネルギー等	140,025	85,041	2,258	8,088
資源循環コスト	廃棄物処理等	27,793	1,000	129,284	103,909
管理活動コスト	環境マネジメント、事業所緑地整備等	27,380	24,890	33,708	35,940
社会活動コスト	工場見学、地域清掃活動等	0	0	2,270	5,420
合計		1,238,732	117,574	209,628	236,462

【集計範囲】不二サッシ(株)千葉事業所 【集計期間】2016年4月~2017年3月(不二サッシ(株)の会計年度と同一期間)
※ 環境保全に資する製品等の研究開発コストなどは含んでいません。

環境保全対策にともなう経済効果

分類	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
省エネによる費用削減	12,716	14,601	20,406	22,110
廃棄物処理の削減費(前年度比)	-9,326	-168,021	119,618	14,501
有価物売却益	5,317	17,550	14,980	13,525
水道購入削減費(前年度比)	3,948	9,629	-179	-1,570
合計	12,655	-126,241	154,825	48,566

【集計範囲】不二サッシ(株)千葉事業所 【集計期間】2016年4月~2017年3月(不二サッシ(株)の会計年度と同一期間)
※ (-)は増加を示しています。

エネルギー使用量内訳

エネルギー	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
電気(MWh)	45,060	45,690	44,255	46,816
LPG(t)	2,789	2,725	1,966	1,959
重油(kl)	1,150	1,309	1,087	0
ガソリン(kl)	147	158	166	179
軽油(kl)	27	26	25	26
灯油(kl)	22	23	9	8
都市ガス(m ³)	-	-	-	1,147,583
環境負荷総量(t-CO ₂)	33,492	32,992	31,666	32,311

【集計範囲】不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要4サイト(本社、東京、千葉、関西)
※ 2016年度より重油を都市ガスへ変更

環境負荷削減量(CO₂換算)

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
環境保全未対策時の環境負荷総量	34,010	33,885	30,483	31,781
環境負荷総量	33,492	32,992	31,666	32,311
環境負荷削減量	518	893	-1,183	-530

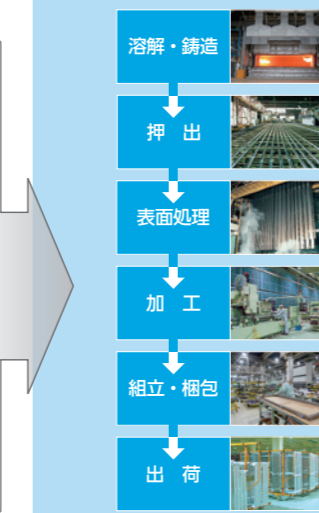
【集計範囲】不二サッシ環境マネジメントシステム導入主要4サイト(本社、東京、千葉、関西)
※ 環境保全未対策時の環境負荷総量：2002年度の原単位(2,116.9t-CO₂/千t)×当該年度の押出生産量(千t)

マテリアルフロー

INPUT

電気	46,816 MWh
都市ガス	1,147,583 m ³
ガソリン	179 kl
軽油	26 kl
灯油	8 kl
LPG	1,959 t
水	78.2万t(内、地下水)2.5万t
アルミ	5,013 t

一貫生産における工程



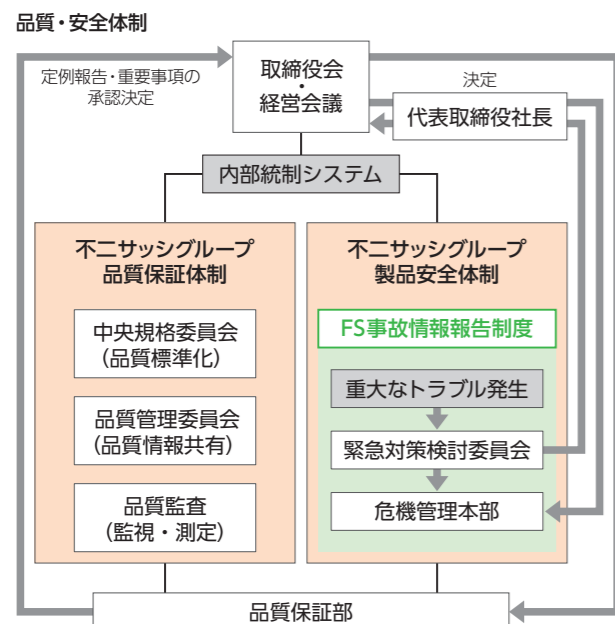
OUTPUT

大気系への排出	32,311 t-CO ₂
水系への排出	65.5万t
産業廃棄物	6,779 t
一般廃棄物	95.5 t

製品品質・安全への取り組み

不二サッシグループ品質保証体制

基本方針
 コンプライアンス経営に基づいた安心、安全で地球環境に優しい商品づくりを通して、グループ全体で顧客満足に徹し、会社業績の貢献に向け邁進する。



不二サッシグループ製品安全行動指針

不二サッシグループは、コンプライアンス経営の一環として、製品安全を経営上の責務と位置づけ、お客様に安心、安全な製品をお届けするために、グループ全体で製造・販売する製品の安全確保に努め、社会に貢献し、信頼される企業となるよう積極的に取り組んでいきます。

WEB 詳細は【トップ>企業情報>製品安全行動指針】

2016年度活動実績

品質管理活動

中央規格委員会（5月）と品質管理委員会（四半期）の開催を通じて、品質情報、改善情報を共有し、社内規格等の品質基準策定につなげました。また、不二サッシ版品質マニュアルに基づく、グループ内のQMS(品質マネジメントシステム)の運用状況を確認しました。

さらに、品質管理体制、生産ラインの設備管理、作業管理の周知度等の確認を目的に品質監査を実施しました。

製品安全文化の定着

商品開発段階での安全評価、施工段階での安全確保等、安全な製品を製造、販売するための取り組みを継続的に実施しました。また、グループ全体で製品安全文化企業に向けた外部研修への参画や、グループ内教育を実施し、製品安全文化の構築と定着を図りました。

引渡し前後の安全・品質の取り組み

製品が引き渡される前の段階では、商品開発が担う「設計品質の確保」、各生産工場が担う「製造品質の確保」、そして、施工管理が担う「施工品質の確保」の3つのステージで安全・品質の確保に取り組んでいます。

引渡し後は、長期間、安全・安心にお使いいただくため、修理用品の長期供給体制をはじめとするアフターメンテナンス体制を整えています。また、お客様から寄せられる様々な情報は、速やかな改善につなげる「再評価システム」で活用しています。

再評価システムでは、収集した情報の分析、検討、評価、標準化を、社内横断的に実施し、評価、標準化した結果は、設計品質・製造品質・施工品質への水平展開や、場合によっては、ホームページや取扱説明書を活用してお客様に注意喚起を促しています。

ISO9001・JISの取得状況

不二サッシグループでは、各生産拠点でISO9001およびJISマーク表示制度を取得するとともに、それに則った品質マネジメントシステムを構築し、グループ全体で品質活動の取り組みを強化し、品質レベルの維持向上を図りました。

取得工場一覧

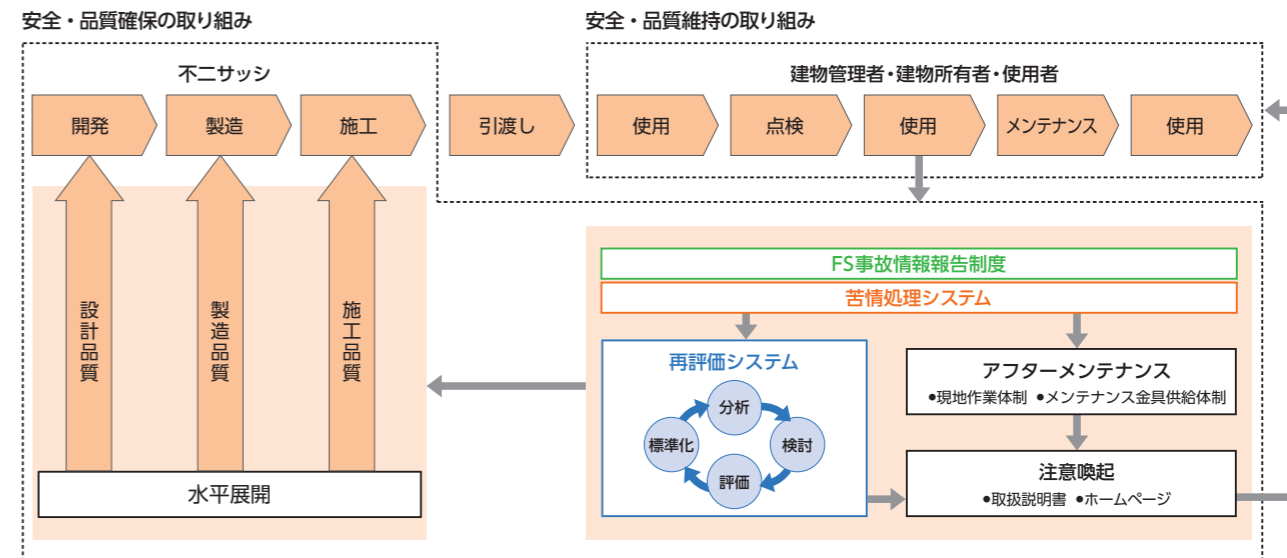
取得者/製造工場	ISO9001	JISマーク表示制度
不二サッシ(株)千葉工場	○	○
不二サッシ(株)技術本部	○	-
グループ会社		
日海不二サッシ(株)	○	○
関西不二サッシ(株)	○	○
北海道不二サッシ(株)本社工場	○	○
しらたか不二サッシ(株)	-	○
(株)沖縄不二サッシ	-	○
不二サッシリニューアル(株)	○	○
FUJISASH PHILIPPINES, INC.	-	○
(株)不二サッシ九州	○	○
不二ライツメタル(株)		
本社工場	○	○
東日本事業部	○	○

顧客満足の上

CS推進体制

当社では、お客様相談窓口(フリーコール)および苦情処理システムを活用して様々な情報を収集し、その内容を当社独自のシステムを通じて分析、検討、評価、標準化し、設

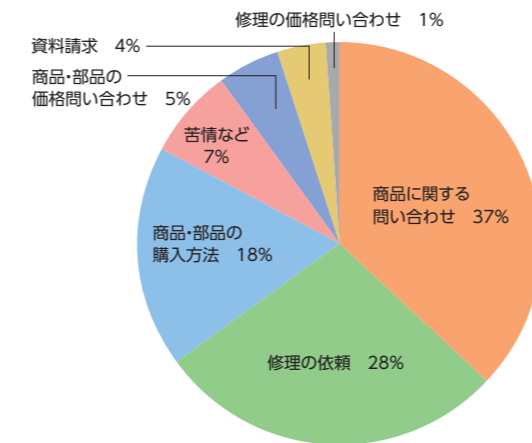
計品質、製造品質、施工品質へ水平展開しています。また、場合によりホームページや取扱説明書を活用して、お客様に注意を喚起しています。



お客様相談窓口

お客様からフリーダイヤルで商品問い合わせ、修理部品の購入、メンテナンス依頼に関する問い合わせが寄せられた場合、迅速な対応をするため、在住エリアを認識し、直接、担当地域の窓口につながるシステムを採用しています。

お客様相談窓口受付明細

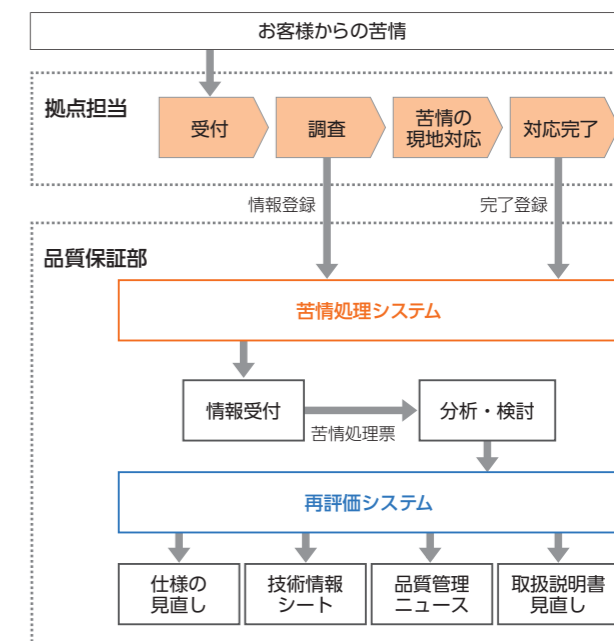


苦情処理対応

お客様からの苦情・クレームは担当拠点(支店、営業部門)が受け付け、調査、対策を協議し、対応します。苦情・クレー

ム対応の情報は、苦情処理システムで品質保証部が受け付け、改善が必要な事案については、「再評価システム」で分析、検討、標準化を行い恒久対策を講じます。これらの情報や対策は、各部門の情報ツールを通じて水平展開し、再発防止につなげています。また、新商品を開発する際の確認項目として用いられています。

苦情処理・再評価システム



不二サッシの活動

「まち美化サポートプログラム」参画

市原市は市民との協働により、ポイ捨てされたごみのない美しいまちづくりを推進するため、「まち美化サポートプログラム」を2016年1月発足しました。具体的には、道路・公園・駅前広場等の公共の場所における、空き缶、たばこの吸い殻等の散乱ごみの清掃活動を行い、ポイ捨て行為の防止に係る啓発活動に参加する「まち美化サポーター」として40団体5個人を認定しています(2017年5月8日現在)。不二サッシ千葉工場は、このプログラムの発足当初から参画し、毎週水曜日の朝、従業員が国道16号線沿いの歩道の清掃活動を行っています。



事業所周辺の清掃活動

環境月間に伴う地元小学生の工場見学

不二サッシ千葉工場は市原市の八幡地区工場連絡協議会のメンバーになっており、6月の環境月間のイベントの一つとして、毎年、地元の小学生を工場に招待しています。来場した小学生は、地元このような大きな工場があるのかと驚きますが、少し誇らしげな表情で帰途につくようです。これは市原市役所が、小学校5年生を対象に配布しているパンフレットで、日本を代表する地元企業を紹介していることと関係していると考えられます。



暴風雨試験装置の見学で強風を体感



大型試験装置の大きさに圧倒

日本赤十字社「銀色有功章」受賞

不二サッシ千葉工場は、献血推進団体として年4回の献血に協力しています。この度、この活動を15年以上にわたり継続していることが日本赤十字社から評価され、「銀色有功章」を受賞いたしました。血液製剤の在庫状況は決して楽観視できるものではないことから、これからも献血活動を続けていけるよう事業所全体の意識を高めていきます。



楯式の銀色有功章

交通安全優良団体の表彰

不二サッシ千葉工場は市原交通安全協会に加入し、交通安全の啓蒙活動であるシートベルトキャンペーンや自転車交通マナー等の指導イベントに積極的に参加しています。また、ほとんどの従業員が自動車やオートバイを使って通勤していることから、市原警察署の交通係長による交通安全講話会を定期的に開催して交通安全に対する意識を高めています。その取り組みが千葉県警察本部と市原交通安全協会から評価され、交通安全優良団体として表彰されました。



交通安全表彰受賞者代表として千葉総務部長が謝辞を述べました



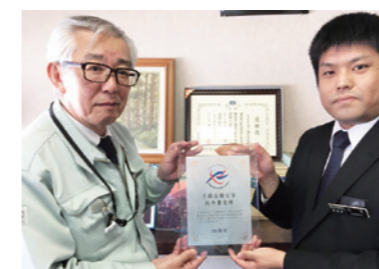
最後に警察幹部を中心に集合写真を撮りました

グループ会社の活動

しらかか不二サッシ

「予備自衛官等協力事業所」に認定

2012年度より予備自衛官2名の雇用を通じて社会貢献をしていることが認められ、防衛省より「予備自衛官等協力事業所」の認定を受けました。予備自衛官は定期的に自衛隊での訓練に参加しなければなりません。そのため、当社では訓練に参加する際、業務に支障の出ないようスケジュール等の調整を行っています。今後も、訓練への参加や災害招集・防衛招集時に出勤しやすい体制づくりを継続し、予備自衛官としての活動に協力していきたいと考えています。



表示証の贈呈



表示証

関西不二サッシ

エコキャップ運動

従業員の全員参加を目標に、自動販売機の横にペットボトルキャップ回収BOXを設置しました。回収したキャップはNPO法人「エコキャップ推進協会」を通じてリサイクル事業者が購入し、ゴミとして捨てるはずだったキャップが再利用され、環境保護と再資源化やCO₂排出量抑制に寄与します。リサイクル事業者への売却代金でワクチンを購入し、発展途上国の子どもたちへ送られます。約2ヶ月間で2,344個回収し、約3人分のワクチンが購入できました。また、CO₂排出量を17.17kg削減しました。現在もエコキャップ運動を継続実施しています。



エコキャップ受領書

山口不二サッシ

省エネ事業所の建設と地域清掃の取り組み

山口不二サッシでは、建設を進めていた新事務所と第2工場が2016年6月に竣工し、7月より稼働を開始しました。この第2工場の建設によって生産能力がより高まり、不二サッシグループの「エコ商品シリーズ」をはじめとする環境配慮型製品の主力工場として、事業拡大を目指す体制が整いました。また、山口不二サッシでは環境にやさしい事業所を目指して、新事務所と新工場にLED照明を採用し省エネ化を図るとともに、以前から継続している事業所周辺の清掃活動(枝の伐採、草刈り、ごみ収集等)をより強化して実施しています。



LED照明を採用した事務所棟外観



社外清掃活動の様子

沖縄不二サッシ

環境と人にやさしい新社屋・新工場

沖縄不二サッシは1971年の設立以来、不二サッシグループの沖縄地区における製販一体の拠点として事業を展開してきました。2016年9月には新社屋と新工場が竣工し、需要拡大が見込まれる沖縄地区における積極的な事業展開による地産地消の基盤を確立しました。新社屋と新工場はそれぞれLED照明を導入し省電力化を図るとともに、工場には過酷な夏場の暑さ対策としてスポットクーラーを導入し労働環境を改善しました。また、毎週木曜日の朝、事業所周辺の清掃を行い、地域の環境美化に努めています。



工場にLED照明、スポットクーラーを設置



事業所周辺の清掃活動

人権の尊重

人権に対する基本的な考え方

不二サッシ行動規範のひとつ「私たちは活力あふれる気風づくりに努めます」は、全社員が一致協力して、お互いに尊重し合い、認め合い、持てる能力を最大限に発揮する社風を築いていくことを示しています。不二サッシは、働きがいのある、ハラスメントのない職場環境づくりを目指しています。

女性活躍の推進

不二サッシでは、女性従業員の個性と能力が十分に発揮できる労働環境を整備するため、行動計画を策定し、その計画の実施に向けて取り組んでいきます。

女性の活躍を推進するための一般事業主行動計画

女性がその能力を十分に発揮できるようにするため、次のように行動計画を策定する。

1. 計画期間
2016年(平成28年)4月1日から
2021年(平成33年)3月31日
2. 当社の課題
(1) 女性の採用者が少ない。(特に、専門職種)
(2) 正社員と同等の業務を担っている非正社員の雇用環境改善が進んでいない。
3. 計画内容
目標1 採用者に占める女性割合を30%以上とする
<取組内容>
●求職者に対する積極的な広報。(特に、専門職種に対する広報)
●育児・介護・配偶者の転勤等を理由に退職した社員に対する再雇用制度の導入・利用促進。
目標2 非正社員の職種・雇用形態の転換を実施する
<取組内容>
●非正社員の処遇を見直す。
●非正社員を対象とした職種・雇用転換を推進する。

以上

女性管理職・役職者数の推移

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
管理職(名)	男性	342	360	355	364
	女性	7	9	10	10
	全体	349	369	365	374
女性管理職率(%)		2.01	2.44	2.74	2.67
役職者(名)	男性	225	253	253	257
	女性	3	6	7	7
	全体	228	259	260	264
女性役職者率(%)		1.32	2.32	2.69	2.65

障がい者雇用

不二サッシは企業の社会的責任を果たすために、障がいのある方とない方がともに自然に働ける「ノーマライゼーション」の理念に基づき、社会福祉法人メイブルの運営等を通じて障がい者の雇用、就業について努めています。また、コンプライアンスの観点からも、障がいのある方の活躍に向け全社を挙げて取り組んでいきます。

障害者雇用率の推移

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
障がい者雇用率(%)	1.46	2.06	2.24	2.17
算定基礎労働者数(名)	10,919	10,914	11,147	11,241
法定雇用障害者数(名)	216	216	216	216
障害者数(名)	159	225	250	244

高齢者の再雇用

高齢者の再雇用は、少子高齢化の急速な進展と、人口減少に伴う労働力不足という中長期的な視点からも重要な課題です。不二サッシは、定年後も継続して勤務できる再雇用制度を導入し、就業機会を確保するとともに、それぞれの経験と知識を活かし活躍する環境を整えています。

高齢者再雇用数の推移

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
高齢者雇用者数(名)		53	58	59	51
定年後再雇用実績	雇用率(%)	81.82	72.73	100	100
	定年(名)	11	11	4	8
	再雇用(名)	9	8	4	8

人材育成

人材に対する基本的な考え方

不二サッシは企業発展の原動力は優秀な社員であるとの認識に立ち、次の目的に沿って教育訓練を行っています。
①会社の経営理念と経営方針に則り、会社発展に貢献し、仕事に生きがいを持つ創造的な社員の育成を図る。
②経営および社会情勢や技術革新の進展に伴い求められる能力が変化しても、それに対応できる応変能力のある社員の育成を図る。

各種の教育訓練

- ・階層別集合研修
- ・職場研修(OJT)
- ・自己啓発支援研修
- ・海外語学研修教育



新入社員研修(4月)



新入社員フォロー研修(2月)

グローバル人材の育成

不二サッシフィリピン社(フィリピン共和国)に「不二サッシ設計センター」を置き、現地従業員を日本国内で設計研修するなど、現地従業員の設計スキルの向上に努めています。また、優秀な現地従業員を不二サッシに転籍させ、日本国内の事業所で働く環境を整備しています。

適材適所の人材配置

年1回、従業員の考え(業務を行う上での自己評価、職場について感じていること、自らのキャリア形成・能力開発のために今後やりたい職務等)を自己申告書に記録し、それをもとに上司と話し合う制度を設けています。自己申告書は、従業員の適正配置、能力開発、教育指導などの参考にします。

公正公平な人事制度

職能資格制度に基づいて従業員の能力、成果、意欲を公正に評価することで、各人の能力と資質、士気を向上させ、適正な人事上の処遇(異動、配置、昇格、昇給、賞与、教育訓練等)につなげています。



部門長研修

教育・キャリア支援制度

社員の自己啓発意欲を喚起し促進する目的で、通信教育の紹介や受講料の援助を行っています。また、公的資格取得者には毎月手当を支給しています。

通信教育受講者数の推移

		2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
通信教育受講者数(名)	階層別	48	53	54	54
	自己啓発	7	9	15	13
	部門長推薦	18	16	25	27
	全体	73	78	94	94



模擬面接(評価とは)

ワークライフバランス 労働安全衛生

仕事と育児の両立

育児休業の終了後、職場復帰し小学校第1学年の夏季休業が終了するまでの期間は、短時間勤務ができる育児援助制度を導入しています。

育児休業取得者・短時間勤務利用者数の推移

	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
育児休業取得者(名)	1	5	4	3
短時間勤務利用者(名)	3	4	6	8

介護支援

2年を経過すると消滅する年次有給休暇を、私傷病療養および家族の育児・介護・看護の目的に限り、さらに1年間利用することができる「有給休暇積立制度」を設けています。

柔軟な勤務制度

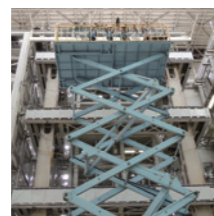
職種により在宅業務ができる制度を設けています。自宅で働きながら、会社とはパソコンとインターネットを使ってコミュニケーションをとっています。

従業員家族の工場見学会

不二サッシ千葉工場は、工場設立50周年の記念行事の一つとして、2014年8月から毎年、従業員の家族を対象として、夏休みの家族見学会を開催しています。これまで地域貢献活動として、地元の小学生やコミュニティの親子を工場に招待していましたが、従業員の家族が、実際に働いている職



最初に事務所を案内します



高いところで大騒ぎです



社員食堂で一家団楽



今日の収穫に感謝して、緑のカーテンの前でハイポーズ

労働安全衛生に対する基本的な考え方

経営トップの「安全衛生は全てに優先する。安全衛生なくして生産性、品質の向上無し」という決意のもとに、決めたことは守り、守らせて、不安全状態、不安全行動を完全排除する職場にすることを安全衛生管理の基本方針としています。

従業員の健康増進

不二サッシは不二サッシ健康保険組合と協同し、毎年実施する定期健康診断や特定保健指導等により、従業員の健康状況を把握し、疾病の早期発見と予防のための適切な管理を行なっています。なかでも、日本人の2人に1人がなると言われる「がん」の対策として、早期発見、早期治療のための「人間ドック」「乳がん検診」「前立腺検査(PSA)」の受診補助を実施しています。また、健康診断結果をもとに、再受診の勧奨や特定保健指導などのフォローも行っています。

2016年度乳がん検診・前立腺がん検査(PSA)受診状況

	PSA検査(45歳、50歳以上)	乳がん検診
対象者数(名)	307	165
受診者数(名)	285	100
受診率(%)	92.83%	60.61%

※被扶養者を含む

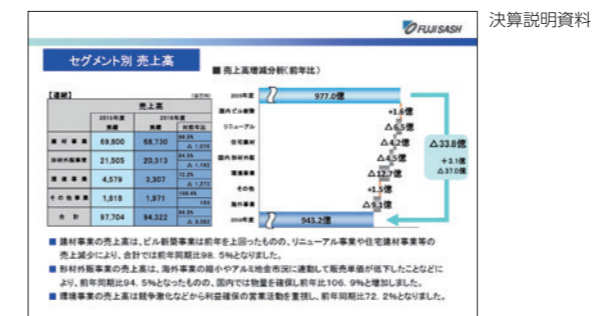
人間ドック補助利用者	
本人(名)	30
家族(名)	4

場やその姿を見ることで会社に対する絆が深まる、仕事の活力になると大好評です。また、仕事場の見学だけでなく、社員食堂で一緒に食事をしたり、ゴーヤやミニトマトの収穫体験も忘れられない思い出になります。

ステークホルダーとのコミュニケーション

決算説明会

不二サッシは、当社の業績や方針をより正確にステークホルダーの皆様に伝えるために、第2四半期と決算期に新聞社、業界紙、証券会社等を対象に決算説明会を開催しています。2016年度決算説明会では、約20社の来訪があり、決算概要のほか、2017年度から2020年度における4カ年の新中期経営計画「創造」について説明しました。当日は、記者の方々からの質問に対して、社長、担当役員から詳細に説明するなど、対話に積極的に努めています。また、中期経営計画「創造」と決算説明の資料を当社ホームページに公開し、株主およびステークホルダーの皆様との対話に努めています。



決算説明会の模様

新中期経営計画

不二サッシは2030年に創業100周年を迎えます。新中期経営計画「創造」では、「変革への挑戦、選ばれる企業へ」のスローガンのもとに、お客様に最適な形で価値を提供するエンジニアリング企業、多角的な収益基盤を持ち、ステークホルダーに選ばれる企業を目指すという成長シナリオを描いています。

その基本戦略として、コア事業の継続的な収益安定化と、注力事業の強化および成長事業での事業基盤構築に取り組んでいます。長期的な施策では、収益性や成長性の低

い事業から、より収益や成長が期待できる事業へ資源を集中する戦略(事業ポートフォリオ戦略)を推進し、グループの経営資源の最適配分によって、収益基盤のさらなる強化と多角的な収益事業の育成を目指します。

当社の課題は、コア事業である建材事業、形材外販事業の安定的な収益確保、潜在成長力が高いリニューアル事業および環境事業の基盤強化、売上高1,000億円の早期実現と利益率アップ、海外事業の再構築と認識しています。これらの課題に対処すべく、新中期経営計画「創造」を推進してまいります。

株主総会

2017年6月29日川崎日航ホテルにて第36期株主総会を開催しました。当日は100名を超える株主の皆様にご出席いただき、事業内容や決議事項などに関してご質問やご意見をいただきました。また、株主の方々から会社の状況をより深く知っていただくため、総会の開催に先立ち会社紹介のDVDを放映し、新商品紹介、中期経営計画の内容、トピックスなどを紹介しました。出席株主の皆様当社をより深く理解していただけたと考えています。

本総会の決議事項

1. 剰余金の配当：当社普通株式1株につき1円
 2. 取締役5名選任：吉田勉、石堂金也、岡野直樹、緒方右武、鈴江孝裕
 3. 監査役1名選任：佐々木茂
 4. 監査役補欠者2名選任：布施明正、植田高志
- 株主様との質疑応答ののち、賛成多数で承認可決いたしました。
- 第36期株主総会後には、「Fujisash Report Vol01」を発行し、総会の決議通知とともにトピックス、中期経営計画「創造」の概要を株主の皆様全員に報告しました。



コーポレート・ガバナンス

コーポレート・ガバナンスの基本的な考え方

当社のコーポレートガバナンスに関する基本的な考え方は、当社グループ全体の企業価値の向上と強固な経営基盤の構築を通じて、お客様に信頼され、社会に貢献し続けるという経営基本方針を実現するため、責任ある経営体制の確立と、経営の透明性向上並びに経営に対する監視・監督機能の強化に努めることで、ガバナンスの強化を図っています。

5つの基本原則

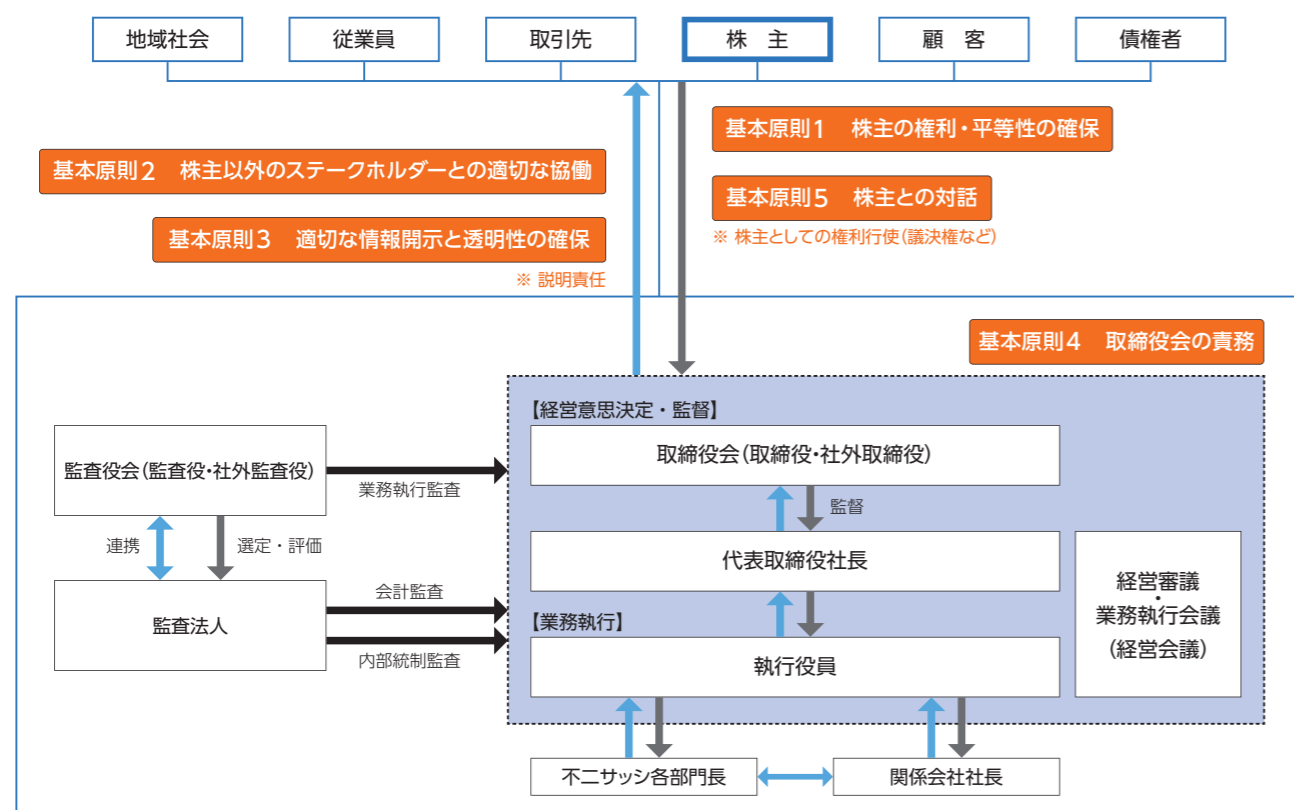
基本原則1 株主の権利・平等性の確保

当社は、株主の権利確保、その適切な行使、および株主の平等性を確保するべく対応いたします。

基本原則2 株主以外のステークホルダーとの適切な協働

当社の持続的な成長と中長期的な企業価値の創出は、従業員・顧客・取引先・債権者・地域社会をはじめとする様々なステークホルダーによるリソースのご提供やご貢献の結果であることを十分に認識し、これらのステークホルダーとの適切な協働に努めてまいります。

コーポレート・ガバナンスの全体像と基本原則関係



基本原則3 適切な情報開示と透明性の確保

当社は、株主や投資家等との建設的な対話が可能となるよう、会社の財政状態・経営成績等の財務情報のほか、経営戦略・経営課題、リスクやガバナンスに係る情報等の非財務情報に関して、適宜解かりやすい情報提供に積極的に取り組んでいきます。

基本原則4 取締役会の責務

取締役会は、株主に対する受託者責任・説明責任を踏まえ、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を促し、収益力・資本効率等の改善を図るため、独立した客観的な立場から、取締役および執行役員に対する実効性の高い監督を行います。

基本原則5 株主との対話

当社は、株主との建設的な対話を促進するために、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を目指したビジョンを策定し、当社の経営方針を分かりやすい形で明確に説明し、株主の理解が得られるよう努めています。

コーポレート・ガバナンス体制

当社は、会社法上の機関設計として、監査役会設置会社を選択しており、監査役会は、適法性、妥当性の面から取締役の職務執行状況の監査を行っています。

取締役会は、経営上の重要事項の決定と業務執行の監督を行っています。当社では、監督機能の強化を図るべく社外取締役を選任しています。

また、執行役員制度を導入し、経営と業務執行を分離して機能・責任の明確化を図っています。社内の意思決定機関として、取締役、執行役員などで構成される経営会議を毎月1回以上開催し、意思決定の迅速化を図っています。

なお、社外取締役、社外監査役からは、四半期毎に関係役員と意見交換会を実施し、社外役員の方の意見を取り入れる機会を設けガバナンス機能を強化しています。さらに年に1度、取締役および監査役に対して、取締役会に対するアンケートを実施し、取締役会の実効性に関する分析・評価を行い、経営上重要な事項の意思決定機関として機能していることを確認しています。

コンプライアンス体制

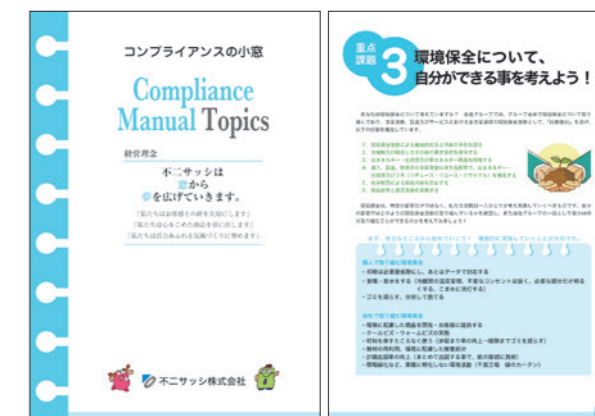
内部統制の仕組みを構築

当社は取締役会で決議した「内部統制システムの整備に関する基本方針」に基づき、内部統制システムを整備して運用しています。各体制の整備および運用状況については継続的に調査し、調査の結果を踏まえて、より適切な内部統制システムの構築に努めています。

コンプライアンス意識の浸透を推進

「不二サッシ・コンプライアンス行動規範」「不二サッシ・コンプライアンス行動基準」の社内規定を整備するとともに、コンプライアンスマニュアルを発行し、コンプライアンスへの理解を深め、健全な職務執行を行う環境を整備するため当社グループの役員、使用人等を対象としたコンプライアンステストを定期的実施しています。

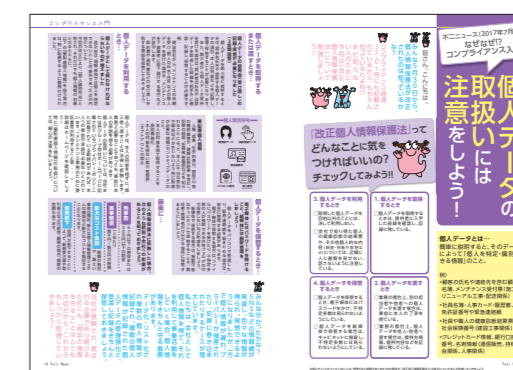
2016年度は、小冊子「コンプライアンスの小窓」を発行し、3つの重点課題「①ホウ・レン・ソウ（報告・連絡・相談）、②三現主義（現場・現物・現実）、③環境保全」の徹底を図るため、各部門、各グループ会社において朝礼・ミーティング・勉強会等で重要性を周知し、定期的なその実効性を評価、確認することで重点課題の浸透と定着を図りました。



コンプライアンスの小窓

コンプライアンス推進活動

当社では、従業員にコンプライアンスをより正しく理解してもらうために、社内報（不二ニュース）を活用して、知っておくべき法令や法改正、社会で法的に問題となったタイムリーな話題や法令違反の事例、さらには社員アンケートで寄せられた題材を「なぜなぜコンプライアンス入門」のコーナーで取り上げ、グループの全役職員へ向けて情報発信をしています。今年度は、「個人情報保護法」の改正に伴い、個人情報の取り扱いについて周知を行い、法令遵守の社内啓蒙活動を実施しました。



社内報（不二ニュース）個人情報

ホットライン

当社では、法令違反や社内規定違反を相談する窓口として、内部通報制度である「企業倫理ホットライン」を設けています。社内報に「企業倫理ホットライン」の通報先を掲出するなど社内周知を行い、第三者機関の窓口を利用することで、通報者の保護と適正な処理を行い、問題の早期発見と解決を図っています。また、その運用・通報状況について定期的に取り締りに報告を行っています。

不二サッシ株式会社

<http://www.fujisash.co.jp/>

本 社 〒 212-0058 神奈川県川崎市幸区鹿島田 1 丁目 1 番 2 号
新川崎三井ビルディング
TEL 044-520-0034

東京本部 〒 141-0031 東京都品川区西五反田 4 丁目 32 番 1 号
TEL 03-6867-0770

内容に関するお問い合わせ先

総合企画部 TEL:03-6867-0777 E-mail:customer@fujisash.net